

海外デザイン保護セミナー

「中国におけるデザイン保護対策」開催報告

日時：平成18年 3月17日 (金)

13:30～17:00

会場：メルパルク東京・4階 孔雀

(東京都港区芝公園 2-5-20)

主催：(社)日本デザイン保護協会



1. セミナーの開催趣旨及び概要

中国では、めざましい経済発展とともに、知的財産関係の法制度の整備や改正が進められており、意匠の出願件数も大幅に増加しております。一方、デザイン模倣や知的財産権に係る紛争事件などの問題も増加してきており、今後、中国においてデザイン保護をはじめとする知的財産戦略をどのように進めるかが大きな課題となってきました。

今回は、実際に中国におけるデザイン保護について総合家電業界として協調して取り組んでいる企業の知的財産(デザイン)担当者の方々をお招きし、総合家電業界のデザイン保護への取り組みと、中国の国家知識産権局専利復審委員会との意見交換の成果をご紹介いただくとともに、専利復審委員会における諸手続及び意匠の類否判断の具体的な事例、中国でのデザイン保護対策と意匠管理等について解説していただきました。

当日は、中国におけるデザイン保護対策や専利復審委員会における手続及び意匠の類否判断基準にご関心をお持ちの会員企業・特許事務所

等の知的財産関係の方々をはじめ約90名が熱心に聴講されました。

セミナー終了後回収のアンケートでは、多くの方々から、中国における意匠出願の手続や類否判断の具体的な事例が参考になったなどの感想をいただきました。

2. プログラムの内容

【第1部】総合家電業界のデザイン保護対策への取り組み

総合家電企業各社が協調して中国におけるデザイン保護対策に取り組んでいる現状について、(株)日立製作所の山縣好明氏より紹介していただきました。



【第2部】中国国家知識産権局専利復審委員会 における手続と意匠の類否判断

専利復審委員会における再審査・登録無効審判の手続、意匠の類否判断の手法等について解説していただくとともに、中国で意匠出願する際の図面の作成方法等、実務上の注意点について、松下電器産業(株)の田尾泰宏氏より紹介していただきました。



田尾泰宏氏・矢野秀史氏・山縣好明氏

【第3部】中国における意匠の類否判断の 具体的事例

中国における意匠の類否判断について、下記の各企業の知的財産担当者より、それぞれ冷蔵庫、エアコン、掃除機、洗濯機、テレビ受像機の具体的な意匠の事例をもとに、専利復審委員会の判断基準・見解を紹介していただき、また、我が国特許庁の審査事例との比較についても解説していただきました。



阪田勝哉氏・保坂政美氏・千葉牧子氏

- 【講師】 千葉 牧子 氏 (株)東芝)
田尾 泰宏 氏 (松下電器産業(株))
保坂 政美 氏 (三菱電機(株))
矢野 秀史 氏 (シャープ(株))
阪田 勝哉 氏 (三洋電機(株))

【第4部】中国でのデザイン保護と意匠管理

中国での最近の法制度の整備・改正や意匠出願の状況を踏まえ、デザイン保護対策と意匠管理に関する基本的な考え方の提案などについて、シャープ(株)の矢野秀史氏より紹介していただきました。

